



テレワーク導入企業体験談 こどもと家族の「保育園留学」

株式会社キッチハイク こどもと地域の未来総研 シニアディレクター 千種 浩二郎
2024年8月8日



自己紹介

こどもと地域の未来総研

千種 浩二郎

慶應義塾大学卒業後、NTTデータで18年間勤め、その後、DXベンチャーを共同創業を経て、キッチハイクにジョイン。

NTTデータでは日系製造小売企業の営業企画責任者を務め、起業後はデザイン、ビジネス、事業開発をリード。

キッチハイクでは、地域・自治体・企業のパートナーとして事業開発を担当。

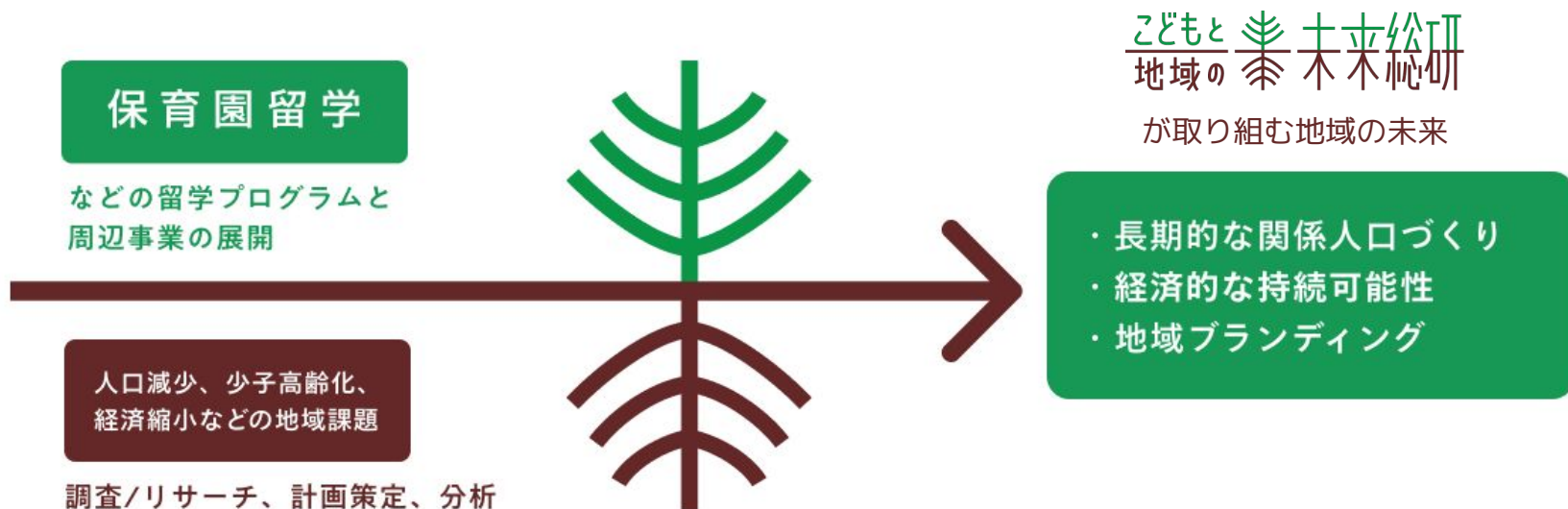
東京在住で地域の中学に通う息子と共に、地域のスポーツ少年団で野球を指導、小中学校とPTA活動を歴任することで、少子高齢化の都心ならではの地域コミュニティ形成を愉しみ中。



こどもと 地域の 未来総研

「こどもと地域の未来総研」は、地域・自治体のパートナーとして、こどもと地域の未来を創造する事業スタジオです

地域資源や関係人口の調査・リサーチ～分析や計画策定から、こどもと地域を主体とした中長期滞在の留学プログラム企画・開発・実装を通じて、各自治体を目指す地域の課題解決・未来創造を目指した地域創生事業、支援ソリューションを提供しています。



MISSION

地域の価値を拡充し、
地球の未来へつなぐ。

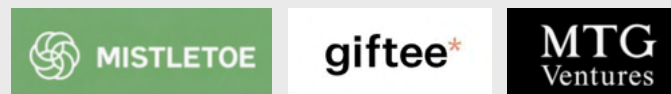
VISION2050

地域を
未来の先駆者へ。

課題先進国日本において、地域はいわば未来のフロントライン。地方創生はやがて地球全域が直面する課題の解決策になります。私たちは、地域のみなさんと共に新たな仕組みをつくり、地域が未来の先駆者となる世界を目指します。

社名	株式会社キッチハイク
設立	2012年12月6日
代表	山本雅也
社員数	35名
所在	東京本社 東京都台東区東上野4-13-9 ROUTE89 BLDG. 4F 北海道支社 北海道檜山郡厚沢部町赤沼町364-14 その他、リモートワークで全国に点在

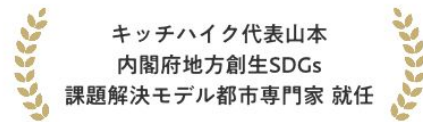
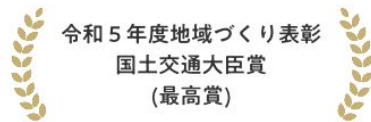
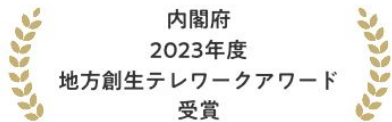
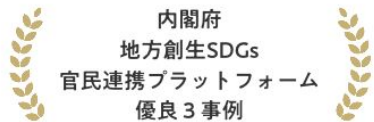
主要株主



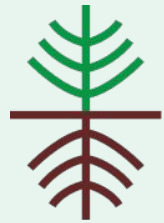
全国の金融機関とも連携



120以上の自治体・官公庁と連携、各種受賞、メディア掲載実績あり



過疎の町で保育園に“留学”!? 厚沢部町で新たなワーケーション

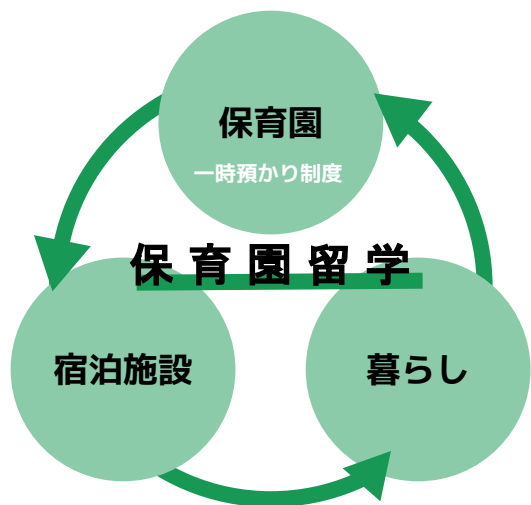


保育園留学とは

保育園留学とは

「保育園留学」は1週間から3週間、こどもが保育園に通いながら、家族で地域に滞在できる暮らし体験。

保育園での一時預かり、宿泊、ワークスペースの提供をパッケージ化。暮らすように地域に滞在することで、地域とご家族の中長期的な関係性の構築を目指すプログラムです。



いま成長するきみに、
世界を広げる経験を。

保育園留学



- ・商標 / 特許取得済み
- ・旅行業取得済み

保育園留学がつくる世界

大自然の中で遊ぶ子どもや留学ご家族の様子、保育士や自治体職員の声を、ぜひ動画でご覧ください。

▼「保育園留学」PV動画を見る▼



[【Full ver.】保育園留学 | 北海道厚沢部町
認定こども園はぜる Brand movie](#)



保育園留学が約束する3つの未来

こどもには、幼少期に大自然に触れて心身ともに健やかに育つ環境を。ご家族には、仕事と子育てを両立する選択肢を。地域には、家族ぐるみの超長期的関係人口の創出や地域経済への貢献をもたらします。

こどもの未来

のびのび
すこやかに



都市部にはない大自然のなかで
幼少期に刺激的な環境に触れ
心身ともに健やかに育てる

家族の未来

仕事も
子育ても両立



テレワークで仕事をしながら
こどもにのびのびした環境を提供
豊かな子育ての選択ができる

地域の未来

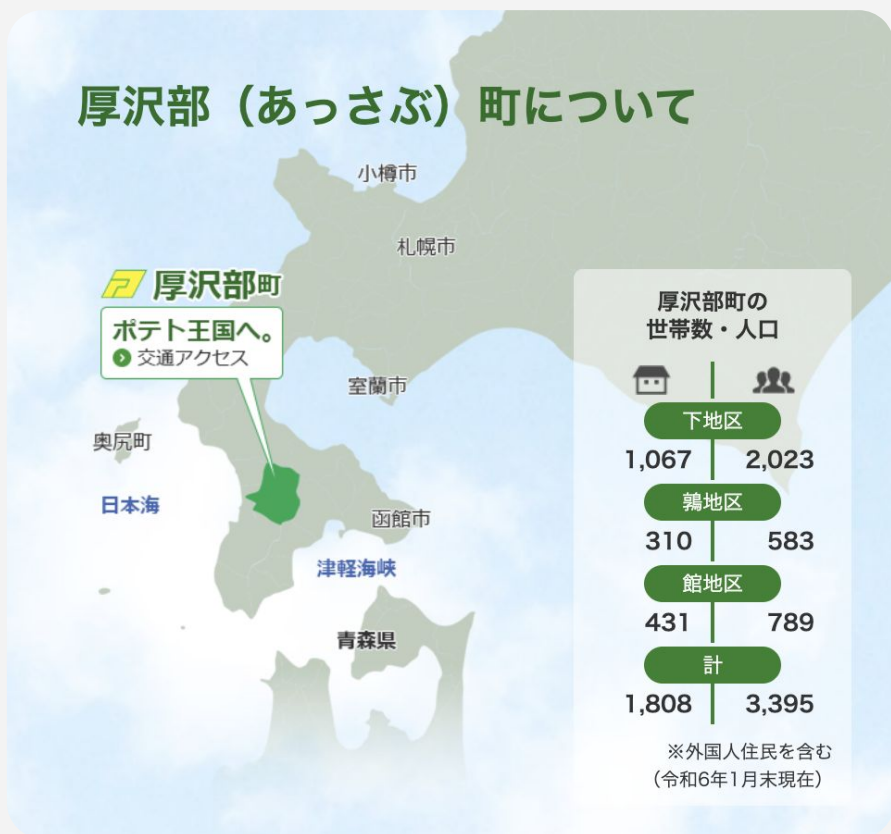
超長期的な
関係人口の創出



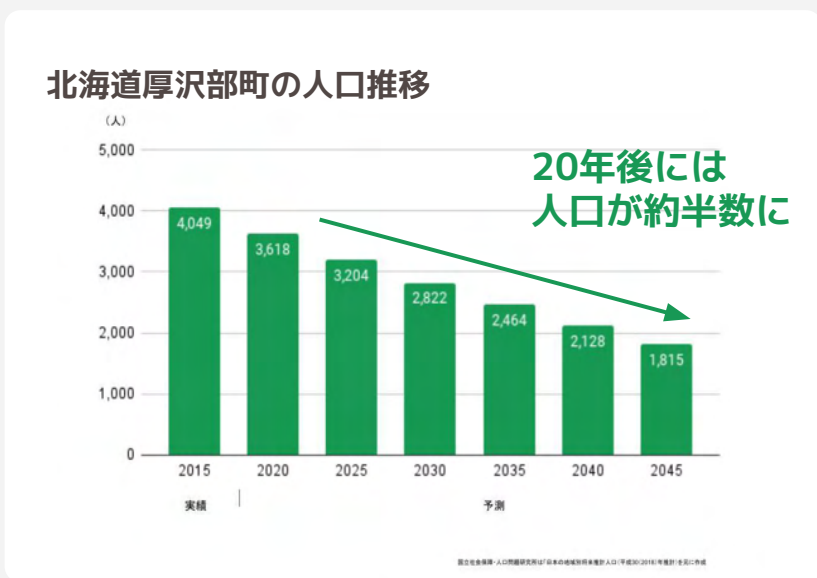
保育園・宿など既存資産を活かし
子育て家族との
超長期的な関係性をつくる

はじまりは、人口3,500人の過疎の町「北海道厚沢部町」から

保育園留学は2021年に北海道厚沢部町の認定こども園「はぜる」からスタートしました。人口減少・若者の流出で過疎化が加速。すばらしい環境を持つ園のこどもが減少し、存続が危ぶまれる状況に。



画像引用元：厚沢部町公式サイト



認定こども園はぜるの稼働率

75% 定員120名、在園児約80名

2024年度0歳児クラスに入る園児は見込み0人

代表CEO自身の留学体験から、事業化へ

「都市部での子育てが難しい」という原体験から、厚沢部への保育園留学を体験した代表CEO山本。家族の課題と、地域の課題を同時に解決するアイデアとして構想が生まれ、事業化へと進みました。



2021年夏冬、第0号として厚沢部町に保育園留学したときの山本家



厚沢部町と認定こども園「はぜる」に感動し、2022年5月に厚沢部町へ移住

実績 | 厚沢部町の保育園留学

厚沢部町が「第2のふるさと」となり、
幼少期からの「超長期的な関係人口」に。

留学家族数 人口3,500人の過疎地域に

150世帯/年

留学後リピート希望率

95% 1年で3回
リピートする家族も



地域への経済効果

滞在中の平均支出

20~40万円



/2週間 3人家族
ガソリン代等 含む

初めて通う園のお友達と仲良くできるか心配でしたが、初日のお迎えで

『**もう迎えに来たの？もっと遊びたい！**』と子どもに言われて驚きました。

最終日も、『これからもここに通う！』とっていました。(体験者)



私たち夫婦は地元に戻っても、もう親戚がいらないんです。でも、子どもには、祖父母の家で、虫取りや川遊びをするといった経験もしてもらいたかった。**第2のふるさとを探していた**とき、保育園留学を通じて厚沢部町と出会いました。前は1週間でしたが、**次は2週間**

滞在したいです。(体験者)



子どもを安心して預けられるワーケーションというのが、**働き方改革の中でニーズに**

マッチしている様子。来年また来よう、の積み重ねで移住に結びつけばすごく良い。

(自治体職員)



保育園留学を新たな文化にすべく、受け入れ拠点拡大中

留学先

2024年6月現在
開始2年半で留学先が

約 **40** 地域へ



保育園留学白書2024

多くの留学家族が全国各地へ

保育園留学 白書2024

累計 **35,000** 人泊を突破

保育園留学、全国**40**地域へ連携拡大。

累計**1,000**家族が地域へ。



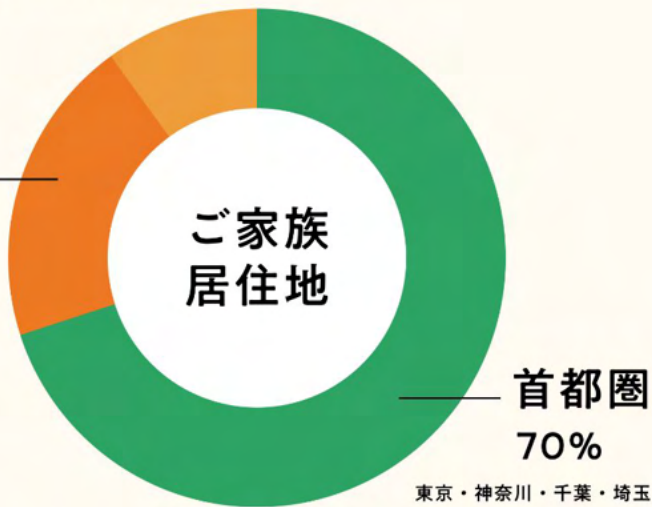
保育園留学白書2024

首都圏の家族、そして0-5歳から幅広く参加

利用者層

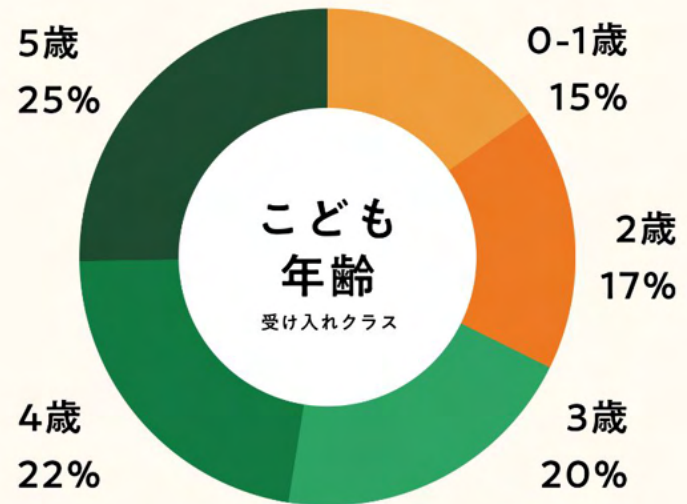
首都圏以外 30%

大阪・福岡・愛知 20%
その他 10%




関東首都圏在住がメイン

留学先が全国が増えたことで、首都圏以外も増加中



0-5歳まで幅広く参加

保育園留学白書2024



テレワークとの両立

観光庁の企業ワーケーションの実証実験

2023年度に観光庁の企業ワーケーション実証実験として、大手企業などに勤める子育て社員を対象に「保育園留学」を体験いただきました。

【効果】

- 普段出張や遠出がしづらい子育て社員の働き方の多様性を高める
- 社員のワークライフバランス向上
- 労働環境改善

PR TIMES プレスリリースを受信 企業登録申請 ログイン

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ...

株式会社キッチハイク フォロー

保育園留学、大手企業が子育て社員を対象に、働き方の多様性を高める取り組みとして活用。今後様々な企業ニーズに対応。

三井住友海上火災保険株式会社などが参加く観光庁企業ワーケーション実証実験レポート>

株式会社キッチハイク
2024年1月25日 11時00分

♡ | X | Facebook | Messenger | Download | Share

1-2週間家族で地域に滞在する、こども主役の暮らし体験「保育園留学」を展開する株式会社キッチハイク(本社：東京都台東区、代表取締役CEO：山本雅也)は、観光庁の企業ワーケーション実証実験として、大手企業などに勤める子育て社員を対象に「保育園留学」を体験いただきました。結果、「普段出張や遠出がしづらい子育て社員の働き方の多様性を高める」「社員のワークライフバランス向上」「労働環境改善」につながるというポジティブな声が、参加者と企業両者から得られました。今後保育園留学では、子育て社員を含む企業研修やオフサイトなど様々な企業のニーズにも柔軟に対応して参ります。

保育園留学
大手企業が
子育て社員の働き方の多様性を
高める取組として活用

GOOD DESIGN

事例：石川県中能登町の保育園留学 保育園



わくわくする探究 のまなび

中能登町の保育園の魅力



「つくし保育園」と「こすもす保育園」は、まわりを田畑に囲まれた立地を最大限に生かして、ご近所の農家さんのご協力のもと、畑仕事などの行事を組み込んでいます。

お花見、どろんこ遊び、芋掘り、稲刈り、雪かき…。四季を味わい尽くせる、里山暮らしの豊かさがここにあります。

事例：石川県中能登町の保育園留学 宿 & テレワーク環境



オーナー家族と いろいろで語らう ゲストハウス

滞在施設②「こすもす」に通える 結舎(ゆいのや)

結舎は、子育てを機に移住してきたオーナーの寺田さんが営む古民家をリノベーションしたゲストハウス。改築したばかりゆえ、水まわりは清潔で使い勝手がよく、子育て家族の生活に寄り添った備品が揃っています。共同キッチンで自炊もできますが、朝食・夕食のオプション利用も可能です。

夜は囲炉裏を囲んで、オーナー家族と語る時間も楽しいはず！違う場所で子育てしている家族との触れ合いは、記憶に残る時間になるでしょう。



[宿泊施設のHP](#)

事例：石川県中能登町の保育園留学の体験談

父と子のふたりで参加。息子は、自分のことは自分でやるように。逞しく成長しました。

📍 石川県 中能登町 つくし保育園

👤 5歳 📅 2週間

こんにちは。私は普段、東京で妻と3人の子どもと暮らしています。下の2人の子どもはまだ小さいので、今回は私と5歳の長男の2人で、石川県中能登町にある「つくし保育園」へ留学してきました。

北陸地方には行ったことがなかったこと、宿泊施設の喜屋がアットホームで好印象だったこと、つくし保育園は規模が大きく施設も充実してそうだと感じたことが決め手となり、こちらを選びました。息子は来年小学生になるので、それまでにたくましくなって欲しい、また、私自身はワーケーションをしてみたいという思いで参加。結果は、どちらも大満足です！

園のこと

宿のこと

暮らしのこと

自分のことを自分でやるようになった

自分のことを自分でやるようになった



今回の留学は、私と息子の2人だけの滞在です。母親がいないということもあって、息子は自分でお布団を畳んだり、食器を下げたりと、身の回りのことを自分でできるように！自分のことは自分でやらなければダメだと考え、実践し、それをしっかり褒めてもらって、「できた」という実感を得られたと思います。

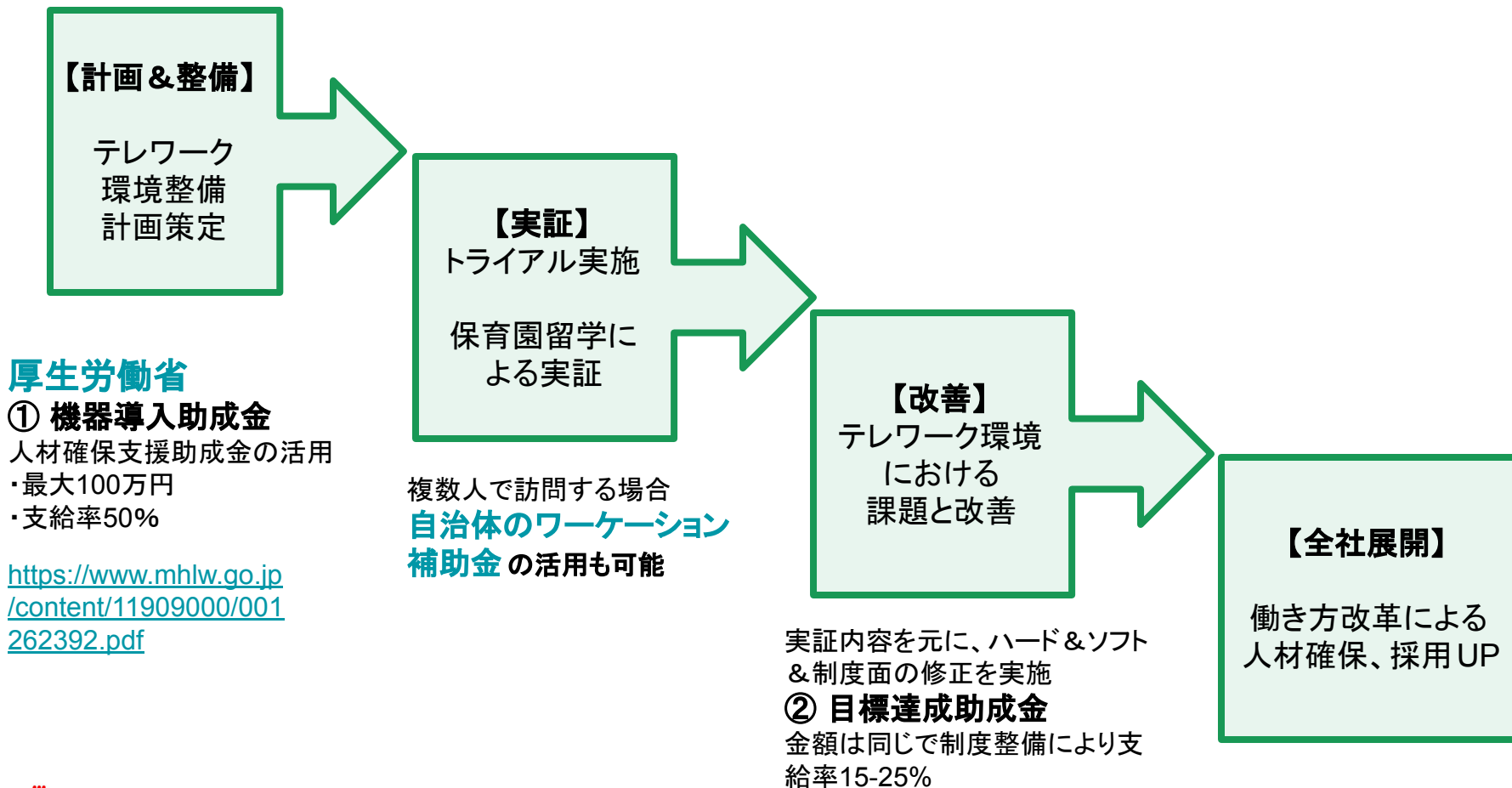
私自身も、オフィスや部屋の中で1人というのではなく、普段とは異なる環境の中で、リフレッシュしながら仕事をする良さを感じられました。



テレワーク推進に向けた施策

テレワーク補助金を用いた保育園留学の活用方法

厚生労働省や自治体からテレワークの助成金やワーケーション補助金の支援を受けることで、社員のテレワーク環境改善、実証を保育園留学も組み合わせることで推進できます。



社員の福利厚生による後押し

日本最大級のオープンイノベーションプラットフォーム「AUBA(アウバ)」を運営する株式会社eiiconでは、**保育園留学活用制度(子育て社員向け人事制度)**を導入し、**保育園留学**にいく社員を後押ししています。

【人事制度への狙い】

- 従業員自身の地域での実践と日本全国にオープンイノベーションを広める機会を創出
- 仕事も子育ても両立したい従業員のエンゲージメントの向上
- ウェルビーイングを高め、子育て世代の働き方の多様性を拡大

保育園留学、eiiconが子育て社員向け人事制度として導入開始。企業の子育て世代の働き方の多様性を拡大。

日本最大級のオープンイノベーションプラットフォームを運営するeiiconと連携。全国約40地域へ子育て社員の保育園留学が可能に

株式会社キッチハイク 2024年5月9日 11時00分



1-2週間家族で地域に滞在することも主役の暮らし体験「保育園留学」を展開する株式会社キッチハイク（本社：東京都台東区、代表取締役CEO：山本雅也）は、日本最大級のオープンイノベーションプラットフォーム「AUBA（アウバ）」を運営する株式会社eiicon（エイコン 本社所在地：東京都港区虎ノ門、代表取締役社長：中村 亜由子）と連携し、eiiconの人事制度として保育園留学活用制度を導入します。従業員は都市に住まいながら全国約40地域へ約2週間、地域の自然や豊かな体験をしながら現地の園に通い、親はリモートワークをしながら滞在が可能に。全国でのオープンイノベーションのさらなる推進と、仕事も子育ても諦めない子育て世代の働き方の多様化を支援します。

子育て社員向け人事制度として
保育園留学をeiiconが導入開始。



保育園留学 eiicon

お問い合わせ先

株式会社キッチンハイク
「こどもと地域の未来総研」事業部
千種 浩二郎（ちぐさ こうじろう）

◎問い合わせフォーム

<https://kitchhike.jp/contact>

こどもと地域を主体とした中長期滞在プログラムの企画開発を軸に調査・計画・具体の設計から実行までワンストップで対応します。

自治体・企業・地域のみならず、
お気軽にお問い合わせください。



<運営会社について>

Mission

**地域の価値を拡充し、
地球の未来へつなぐ。**

社名 株式会社キッチンハイク

設立 2012年12月6日

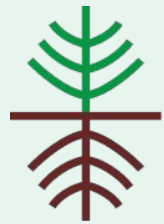
代表 山本雅也

社員数 35名

所在 東京本社
東京都台東区東上野4-13-9
ROUTE89 BLDG. 4F

北海道支社
北海道檜山郡厚沢部町赤沼町364-14

その他、リモートワークで全国に点在



Appendix

小学生留学

「小学生留学」は、1~2週間こどもが小学校に通えて、親は働きながら多様な地域に家族で滞在できる、こども主役の暮らし体験。

こどもには、都会にない大自然や第二のふるさととなる環境を。ご家族には、仕事も子育てもしながら多様な選択肢を。地域には、家族ぐるみの超長期的関係人口の創出や地域経済への貢献をもたらします。

教育環境の向上

子育てによりまちブランディング

関係人口創出

滞在体験の価値向上

経済効果



小学校留学が約束する3つの未来

こどもの未来

大自然であそび、第二のふるさとに



家族の未来

仕事も子育ても両立



地域の未来

超長期的な関係人口の創出



小学生留学の仕組み（集客）

「保育園留学」すべてのユーザーが「小学生留学」プレユーザーとなるため、「保育園留学」と地続きに集客が可能となります。

